北九州市立高生中学校 学校通信 No. 4 発行責任者 校長 木村 康晴 TEL 881-3276 平成25年12月5日発行

的場 亮 先生 進路講演会 「大切なことは、大切なことを 大切にすること」

当たり前ではないことを、 当たり前と思うてへんか?

11月27日(水) に、的場亮先生をお 招きし、進路講演会 を開催しました。

的場先生は現在、 日本全国の中学校や 高等学校はじめ、企 業などで、講演を行っている講演家です。



今回も大変心に残るお話をしていただきました。生徒だけでなく、私たち教職員も、今後の生き方について深く考える機会となりました。

見出しの「当たり前ではないことを当たり前と思う てへんか?」という言葉は、講演の中で特に深く印象 に残った言葉でした。感想を書いてもらいました。各 学年一人ずつですが、紹介いたします。

・・印象に残った言葉・・

「悔しくて泣けるくらい、『今』を生きよう」 《1年生より》

講演を聞く前の自分は、「がんばる!」と決めても やっぱり自分はダメなんだ、出来ないんだってあきら めていた。勉強もスポーツもずべて苦手な私。「くや しいな」って思った自分。でも、そこで頑張ろうとし なかった自分に今、後悔です。

その後悔や悔しみ、憎しみ、自分の頑張りに気づいたのは、この講演を聞いたからです。家族にも色々迷

惑をかけていることにも気づかなかった私。日々感謝が足りなかったと思いました。あの最後の動画を3本見た時、本当に感動しました。だから、これからは先生が言っていたように、自分の人生に責任を持ってこれから日々努力を続けたいです。



・・印象に残った言葉・・「見方が変われば、考え方も変わる」《2年生より》

将来を考えるに当たって、とてもためになる話をしていただいたと思いました。「見方が変われば、何でも変わる」私はこの言葉が心に残りました。何でてすらめる自分、おこられた時にすぐにふてなられる自分、それぞれ見方を変え、考え方を変えてのしまうと思います。顔の表情は人生の履歴書というと思いまうので、今後は最高な笑顔で自然と呼きる映像というのが信念なんだ」と思いました。最かとうしました。感謝の言葉、でした。のもと思いました。今度、家族に「ありがとう」の一言をプレゼントしようと思います。

・・印象に残った言葉・・ 「自分の人生に責任を持つ」 《3年生より》

小学生の頃の夢が「旅人」だったと聞いて、大きな夢だけどとてもいいなと思いました。バックパッカーの本を読んで少し興味をもっていたので、日本全国をまわり講演をしているのは、とても格好いいと感じました。困難を簡単にするには、数をこなすことが大切だと学び、私も苦手な教科を信念を持って一点集中の反復練習で克服していきたいです。高校へ行って何をしたいかという明確な理由がまだないので、しっかり考える必要があると思います。先生の表述など、

の講演をしっかり胸に刻んで、これから受験はもちろん、将来にも生かしていきたいです。

~一瞬の感動を人生のきっかけに~